

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2914 URL <http://www.jti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 前田 勇氣

TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,463,121	△14.9	84,273	△23.7	78,814	8.6	42,869	153.5
21年3月期第1四半期	1,719,819	—	110,447	—	72,551	—	16,910	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	4,474.90	4,474.44
21年3月期第1四半期	1,765.17	1,765.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,940,033	1,743,545	42.5	174,606.49
21年3月期	3,879,803	1,624,288	40.0	162,087.74

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,672,744百万円 21年3月期 1,552,813百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,600.00	—	2,800.00	5,400.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	2,800.00	—	2,800.00	5,600.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	6,000,000	△12.2	244,000	△32.9	227,000	△26.2	100,000	△19.0	10,438.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 当社は第2四半期累計期間の連結業績予想値を算出していないため、記載しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、6ページ「4. その他 (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	10,000,000株	21年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	419,920株	21年3月期	419,920株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,580,080株	21年3月期第1四半期	9,580,080株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、7ページ及び「2010年3月期第1四半期決算短信添付資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

当第1四半期(2009年4月1日～2009年6月30日)の業績

当第1四半期における世界経済は、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、景気は引き続き深刻な状況となりました。わが国の経済につきましては、輸出、生産に一部持ち直しの動きが見られましたが、企業収益の減少や雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、2009年4月に策定した中期経営計画「JT-11」のもと、将来に亘る持続的な成長を可能とするために、将来に向けた投資と不断の業務改善の実践に取り組んでおります。

なお、海外たばこ事業に区分した連結子会社の第1四半期の決算日は3月31日であり、1月1日から3月31日までの業績を第1四半期の業績としております。

売上高

国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外たばこ事業における為替のマイナス影響等により、売上高は前年同期比2,566億円減収の1兆4,631億円(前年同期比14.9%減)となりました。

	2009年3月期 第1四半期 (億円)	2010年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	17,198	14,631	△2,566	△14.9
国内たばこ事業	8,426	7,797	△628	△7.5
海外たばこ事業	7,433	5,683	△1,750	△23.5
医薬事業	161	111	△49	△31.0
食品事業	1,126	988	△137	△12.2
その他事業	50	49	△0.3	△0.6

※ 外部売上高で表示しております。

営業利益

国内たばこ事業における一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少があったものの、売上高の減少を受け、営業利益は前年同期比261億円減益の842億円(前年同期比23.7%減)となりました。

	2009年3月期 第1四半期 (億円)	2010年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結	1,104	842	△261	△23.7
国内たばこ事業	558	546	△12	△2.2
海外たばこ事業	522	333	△188	△36.1
医薬事業	21	△32	△54	—
食品事業	△27	△36	△9	—
その他事業	25	29	4	16.0
消去又は全社	4	3		

経常利益

支払利息の減少に加え、為替差損益の大幅な改善により、経常利益は前年同期比 62 億円増益の 788 億円（前年同期比 8.6%増）となりました。

四半期純利益

固定資産売却益の増加に加え、前年同期において廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失および成人識別自販機導入費用を計上していたこと等により、四半期純利益は、前年同期比 259 億円増益の 428 億円（前年同期比 153.5%増）となりました。

②事業別の概況**〔国内たばこ事業〕**

国内たばこ事業につきましては、当社グループの利益創出の中核として位置づけております。国内市場における総需要の減少、競合他社との競争激化により、事業環境は一層厳しさを増しております。当社といたしましては、競合他社との競争優位性の確保に向け、強靱なブランド・ポートフォリオの構築に努めるとともに、お客様満足度の最大化に向けた付加価値・品質の更なる向上、コスト効率性の高い事業運営体制の構築につきましても、不断の取り組みを行っております。

当第 1 四半期においては、中核ブランドであるマイルドセブン・ファミリーを中心に既存ブランドの育成や新製品投入に注力し、ブランド価値の向上に努めました。具体的には、「マイルドセブン・100's・ボックス」、「マイルドセブン・ライト・100's・ボックス」を全国発売し、地域限定で発売していた「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」を全国拡販しております。

また、新技術を採用した全く新しいチャコールフィルターにより、鋭さ極めた強メンソールが味わえる新製品「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」を 2009 年 8 月上旬より全国発売いたします。

当第 1 四半期における紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少に加え、成人識別自動販売機の導入に際して、前年同期は、コンビニエンスストア等に対する販売数量が増加したことにより、前年同期に対し 30 億本減少し、390 億本（注）（前年同期比 7.2%減）となりました。また、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、シェアは 65.1%（前年同期比 0.2 ポイント増）、千本当税抜売上高は 4,056 円となりました。

この結果、売上高は、販売数量の減少により、前年同期比 628 億円減収の 7,797 億円（前年同期比 7.5%減）となりました。営業利益は、一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少があったものの、売上高の減少を受け、前年同期比 12 億円減益の 546 億円（前年同期比 2.2%減）となりました。

（注）国内たばこ事業の販売数量には、当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第 1 四半期における販売数量 9 億本があります。

〔海外たばこ事業〕

海外たばこ事業につきましては、当社グループの利益成長の牽引役としての役割を果たし続けるべく、GFB（注 1）への資源集中、単価の改善によるマージン率の向上等、トップライン成長の機会を積極的に追求しております。

当第 1 四半期における GFB の販売数量は、「ウィンストン」がトルコ、ロシア、フランス、イタリア、スペインで、「キャメル」がイタリアで、「マイルドセブン」が韓国、台湾で順調に伸張したことにより、前年同期に対し 15 億本増加し、571 億本（前年同期比 2.6%増）となりました。しかしながら、中東における一時的な出荷停止の影響、フィリピンにおいて、ライセンス契約から製造委託へ切り替えたことに伴う影響等により、GFB を含む紙巻たばこの販売数量は、前年同期に対し 14 億本減少し、1,009 億本（注 2）（前年同期比 1.4%減）となりました。

また、前年同期比で主要市場の通貨が、海外たばこ事業の決算を連結する子会社において使用する米国ドルに対して下落し、更に、邦貨換算時に円高の影響を受けたことから、

売上高は、前年同期比 1,750 億円減収の 5,683 億円（前年同期比 23.5%減）、営業利益は、前年同期比 188 億円減益の 333 億円（前年同期比 36.1%減）となりました。

（注1）ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

（注2）当期より、海外たばこ事業における紙巻たばこの販売数量には、シガー、パイプ、スヌースの販売数量を含んでおります。当第1四半期のシガー、パイプ、スヌースの販売数量は1億本です。また、前期まで当該数値に含んでいた、主としてドイツ市場において展開しているプライベートブランドの販売数量は、当期より除外しております。当第1四半期のプライベートブランドの販売数量は12億本です。

※ 当第1四半期の為替レートにつきましては1米国ドル=93.76円、前年同期の為替レートにつきましては、1米国ドル=105.25円です。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力し、引き続き、国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努めております。開発状況としましては、自社開発品9品目が臨床試験の段階にあります。

また、早期の事業価値実現に向けた、戦略的な導出入機会の探索及び提携先との連携強化についても取り組んでおります。

子会社鳥居薬品㈱につきましては、「注射用フサン（蛋白分解酵素阻害剤）」の売上高は減少したものの、2009年3月より「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」の販売を開始したことに加え、「ツルバダ錠（抗HIV薬）」、「セロトーン（制吐剤）」等の売上高が伸張したことから増収となりました。

この結果、鳥居薬品㈱における増収があったものの、前年同期は2004年10月にロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入を計上していたこと等により、売上高は前年同期比49億円減収の111億円（前年同期比31.0%減）、営業損失は32億円（前年同期は21億円の営業利益）となりました。

〔食品事業〕

食品事業につきましては、飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに、将来の成長に向けた事業基盤の更なる強化に努めております。

飲料事業におきましては、基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化や自動販売機オペレーターである子会社㈱ジャパンビバレッジを中心とした販売網の充実に努めており、これらの取り組みを通じた着実な拡大を図るとともに、収益力の強化に向けた取り組みを推進しております。

加工食品事業及び調味料事業におきましては、加ト吉グループにおいて、各バリューチェーン機能の強化を通じた事業量の拡大及び強固な基盤確立に努めております。

また、子会社㈱加ト吉については、2009年度中に社名を変更することを予定しております。

この結果、売上高では、飲料事業が堅調に推移したものの、チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により、前年同期比137億円減収の988億円（前年同期比12.2%減）となりました。また、利益面では、2009年6月に子会社㈱グリーンフーズの株式を㈱加ト吉が追加取得したことに伴い発生したのれん償却の影響等により、前年同期に対し9億円悪化し、36億円の営業損失（前年同期は27億円の営業損失）となりました。

〔その他事業〕

その他事業につきましては、売上高は3千万円減収の49億円（前年同期比0.6%減）、営業利益は前年同期比4億円増益の29億円（前年同期比16.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ485億円減少し、1,186億円となりました（前年同期末残高2,162億円）。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出等により、税金等調整前四半期純利益は836億円となりましたが、法人税や賞与の支払等により、329億円の収入（前年同期は318億円の支出）となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、廃止社宅の売却等による収入があった一方、有形固定資産の取得により、130億円の支出（前年同期は256億円の支出）となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行及び償還、配当金の支払等により、747億円の支出（前年同期は1,024億円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、2009年4月30日発表の予想から変更はありません。

なお、当社は、第2四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2009年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,745	164,957
受取手形及び売掛金	283,753	290,068
有価証券	8,838	4,910
商品及び製品	139,550	122,970
半製品	107,775	119,290
仕掛品	7,776	6,561
原材料及び貯蔵品	229,578	215,334
その他	216,949	174,751
貸倒引当金	△3,349	△3,162
流動資産合計	1,104,619	1,095,682
固定資産		
有形固定資産	663,349	668,742
無形固定資産		
のれん	1,539,748	1,453,961
商標権	356,499	347,372
その他	29,462	30,509
無形固定資産合計	1,925,710	1,831,843
投資その他の資産		
投資有価証券	92,338	90,230
その他	196,755	234,999
貸倒引当金	△42,739	△41,695
投資その他の資産合計	246,354	283,534
固定資産合計	2,835,414	2,784,121
資産合計	3,940,033	3,879,803
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,496	158,544
短期借入金	136,375	113,231
1年内償還予定の社債	42,901	190,363
1年内返済予定の長期借入金	25,763	26,380
未払たばこ税	200,642	172,986
未払たばこ特別税	10,686	10,470
未払地方たばこ税	87,879	85,541
未払法人税等	41,498	51,777
引当金	24,268	39,172
その他	234,211	244,936
流動負債合計	954,724	1,093,403

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2009年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年3月31日)
固定負債		
社債	454,076	349,794
長期借入金	296,883	299,563
退職給付引当金	259,781	259,145
その他の引当金	1,305	1,318
その他	229,715	252,289
固定負債合計	1,241,763	1,162,111
負債合計	2,196,487	2,255,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,400	736,400
利益剰余金	1,241,034	1,224,989
自己株式	△74,578	△74,578
株主資本合計	2,002,856	1,986,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,587	8,437
繰延ヘッジ損益	12	92
海外連結子会社の年金債務調整額	△20,188	△18,965
為替換算調整勘定	△320,523	△423,561
評価・換算差額等合計	△330,112	△433,997
新株予約権	404	364
少数株主持分	70,397	71,109
純資産合計	1,743,545	1,624,288
負債純資産合計	3,940,033	3,879,803

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)
売上高	1,719,819	1,463,121
売上原価	1,394,538	1,185,876
売上総利益	325,280	277,244
販売費及び一般管理費	214,833	192,970
営業利益	110,447	84,273
営業外収益		
受取利息	2,008	1,472
受取配当金	1,386	1,181
為替差益	—	1,055
その他	3,037	1,759
営業外収益合計	6,433	5,469
営業外費用		
支払利息	11,384	8,194
為替差損	29,771	—
たばこ災害援助金	39	73
その他	3,133	2,659
営業外費用合計	44,329	10,928
経常利益	72,551	78,814
特別利益		
固定資産売却益	678	9,117
取引契約終了一時金	600	—
その他	77	1,125
特別利益合計	1,355	10,243
特別損失		
固定資産売却損	121	1,601
固定資産除却損	4,998	1,187
減損損失	10,480	229
事業整理損	—	1,335
成人識別自販機導入費用	7,786	—
その他	1,353	1,088
特別損失合計	24,740	5,443
税金等調整前四半期純利益	49,166	83,614
法人税等	30,509	39,292
少数株主利益	1,745	1,452
四半期純利益	16,910	42,869

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	49,166	83,614
減価償却費	43,379	33,256
減損損失	10,480	229
固定資産除売却損益(△は益)	△214	△6,982
のれん償却額	26,783	24,975
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,953	△3,075
受取利息及び受取配当金	△3,395	△2,653
支払利息	11,384	8,194
売上債権の増減額(△は増加)	△19,075	9,907
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,416	△26,363
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,326	△7,392
未払金の増減額(△は減少)	△28,774	△6,245
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	68,572	21,663
その他	△57,518	△54,173
小計	37,997	74,954
利息及び配当金の受取額	3,086	2,936
利息の支払額	△10,774	△7,966
法人税等の支払額	△62,117	△36,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,808	32,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	1,794	903
有形固定資産の取得による支出	△17,889	△25,162
有形固定資産の売却による収入	1,193	12,539
無形固定資産の取得による支出	△1,834	△765
子会社株式の取得による支出	△7,644	△979
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,061	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△14	—
その他	1,843	390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,612	△13,074

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	63,606	22,970
長期借入れによる収入	334,621	315
長期借入金の返済による支出	△270,625	△17,263
社債の発行による収入	—	99,804
社債の償還による支出	—	△150,000
配当金の支払額	△24,546	△26,454
少数株主への配当金の支払額	△786	△2,446
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△1,650
その他	166	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,436	△74,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,742	6,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,273	△48,589
現金及び現金同等物の期首残高	215,008	167,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	216,281	118,668

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(2008年4月1日から2008年6月30日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	842,661	743,349	16,137	112,654	5,016	1,719,819	—	1,719,819
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,507	8,269	—	41	3,383	24,202	(24,202)	—
計	855,168	751,619	16,137	112,695	8,399	1,744,021	(24,202)	1,719,819
営業利益又は営業損失 (△)	55,829	52,246	2,190	△2,752	2,501	110,015	431	110,447

当第1四半期連結累計期間(2009年4月1日から2009年6月30日まで)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	779,769	568,334	11,142	98,889	4,985	1,463,121	—	1,463,121
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,737	8,816	—	36	2,694	26,284	(26,284)	—
計	794,506	577,151	11,142	98,925	7,680	1,489,405	(26,284)	1,463,121
営業利益又は営業損失 (△)	54,617	33,395	△3,269	△3,695	2,901	83,949	324	84,273

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりであります。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
前第1四半期 連結累計期間	19,474	18,604	877	1,941	2,654	43,553	(174)	43,379
当第1四半期 連結累計期間	14,711	13,207	928	4,163	362	33,372	(116)	33,256

のれん償却額

(単位:百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第1四半期 連結累計期間	272	23,854	—	2,657	—	26,783
当第1四半期 連結累計期間	272	21,318	—	3,393	—	24,983

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりであります。

（前第1四半期連結累計期間） 300,068百万円

（当第1四半期連結累計期間） 276,767百万円

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2008年1月1日から2008年3月31日までを前第1四半期連結累計期間に計上しており、また、2009年1月1日から2009年3月31日までを当第1四半期連結累計期間に計上しております。

6. 会計処理の方法の変更

（前第1四半期連結累計期間）

連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 2006年5月17日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方
法によった場合に比べて、営業利益が、「海外たばこ」で23,854百万円減少しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。